

## 保護者通信 本科3期号【中3生】

本科担当講師から「本科3期授業報告」「これからの過ごし方」のメッセージ

### 【英語】

中3選抜東大英語 3EJSS 笥 雅子 講師 [かけいまさこ]

本科3期では、今後の応用～発展学習を意識しながら、中学3年間の基礎／土台を確認する作業をしました。「名詞」では、知っている単語（例えばfamily）でも、集合名詞という考え方をすることや、同じ名詞（例えばroom）でも可算名詞として扱ったり不可算名詞として扱うことで意味が違うことなどを学習しました。「代名詞」では、各種代名詞（人称、指示、再帰、不定）をまとめて確認しました。「冠詞」では不定冠詞や定冠詞の意味を確認した上で、どちらもつけない場合の意味の変化(例えばgo to a/the/- school)を学習しました。最後の3回の授業では、読解問題により総合的な習得状況を見ました。何事も土台がしっかりしていれば、そこからいくらでも高く積み上げてゆけますが、その反対に、土台が固まっていなければ、いくらその上に積み上げていっても、いつか崩れる運命にあります。高校に向かうという一つのステージ移行の機会に「自分にとって」弱いところはどこなのかを明確にした上で、より高度な知識の習得へと繋げていってほしいと思っています。

中3英語 3EJS 渡辺 いづみ 講師 [わたなべ いづみ]

この一年間、テキストも難しく、習得すべきポイントも増え、苦労したかもしれません。毎回の課題をこなすだけで、精いっぱいだったとしても、不思議はありません。当然のことです。高校範囲まで含まれていたのですから。本当によく頑張りました。でも今後その苦労はきっと報われます。もうかなりハイレベルな長文も読めるようになっているはずですし、自分の言いたいことを英語で表す力もついているはずです。何より、自分に合った英語の学習法が確立できているのではないのでしょうか？

Z会の授業で学習したことが身につけていけば、高校の授業も、不安なく受けられるということです。自信をもって第一歩を踏み出してください。



## 【数学】

### 中3選抜東大・医学部数学 3MJSS 石田 浩一 講師 [いしだ こういち]

本科3期では高校数学Bの数列を中心に学びましたが、理系が学ぶ数学Ⅲの数列の極限にまで踏み込んで扱いました。単に公式を覚えて問題を解けるようになるだけでなく、住宅ローンの返済といった身の回りの出来事に関連させて理解したり、無限小数  $0.3333\dots$  がなぜ  $\frac{1}{3}$  になるのか、といった小学校以来の疑問を解明したり、以前に学んだ積分法と数列の和の極限との関連を考えたり、様々な知識と関係付けながら学びました。これで高校数学の範囲全体をほぼ学んだこととなります。様々な知識との繋がりを考え、複眼的な視点を持つことがより一層可能になってきました。ただ、だからと言って高校数学をマスターしたとは言えません。それらの知識や見方を結果につなげる確実な処理能力はまだまだ備わっていません。このクラスで中1から継続してテーマとしている「見通しを持った計算」はまだまだ課題として残っています。春からの新しい学年では、もう一度高校数学全体を振り返りながら一段高いレベルで理解を深め、きちんと結果を出せる力を身につけていきます。

### 中3数学 3MJS 宮崎 賢一 講師 [みやざき けんいち]

本科3期では、数学ⅠAの『整数』および数学Ⅱの導入部分である『式と証明』と『複素数と方程式』の内容を扱いました。1年間高校数学を扱ってきましたが、毎回の授業で扱う内容が多くなり、かつ授業のスピードも上がり、今までは復習をさえすればなんとかなってきましたが、日頃から自分で苦手分野の穴を埋めるべく勉強しなければならないと実感している生徒さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。部活などで復習が追いついていない生徒さんは、特にこの春休みを大事にしてください。一学期からは数学Ⅱのメイン分野に入ります。数学Ⅱと言っても基本は数学Ⅰです。中でも数学Ⅱに直結する二次関数と三角比。春休みにはこの2つの分野の土台作りを行いましょう。春からはいよいよ高校生です。今まで以上に勉強とその他とのメリハリをつけて時間を上手に使っていきましょう。

★学習は継続していくことが何より大切です。3学期中で習ったことを春期講習中にしっかり定着させ、また新学年・1学期も新しいことを学習していきましょう。

**Z会東大進学教室メテウス** 教室窓口受付時間 14:00~21:00(月~土曜日)※講習期間中は異なる場合あり

御茶ノ水教室 03-5296-2828

渋谷教室 03-5774-2828

池袋教室 03-5985-2828※[池袋教室は月曜休室日]